

AFR

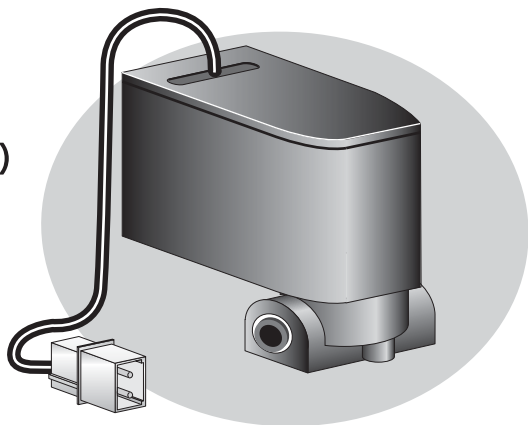
オート
フラッシング

取扱説明書

このたびはマーフィードエキスパート用オプションパーツをお求めいただきまして、まことにありがとうございました。御使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読み下さい。お読みになった後は、後日お役に立つこともありますので、大切に保管して下さい。

特 長

- 不純物、TDS(総溶解度)除去率アップ
- メンブレンの寿命アップ
- 長期間の使用に耐える設計構造



メンブレンは定期的な洗浄が寿命アップにつながります。

AFR(オートフラッシング)は洗浄を自動的に行い、さらに不純物、TDS(総溶解度)除去率を高め、メンブレンの寿命を延ばすことができます。

AFR(オートフラッシング)は、システム指導時又は連続運転時に1時間毎に自動的に高流量でメンブレン内をフラッシングします。18秒間のフラッシングにより、メンブレン表面に付着した不純物を洗い流してメンブレンの寿命と性能をのばします。また、フラッシングはタンク満水モードから生産水モードに切り替わるとき、自動的にリセットされます。バルブには流量制限機能が備わっており、通常3(排水):1(純水)の割合でバルブの閉め時に作用して排水量をコントロールします。ただし、水圧が低い場合は、排水が多くなる場合があります。

付属品

- 分岐コード

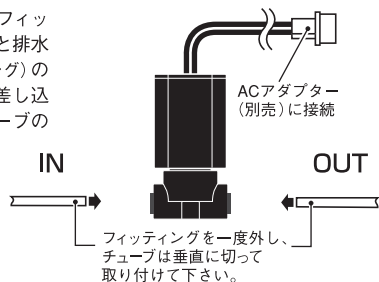
詳 述

- 材 質 : ポリプロピレン、EPDM、ステンレス
- パワー : 24V、50/60Hz、洗浄時220mA、閉め時40mA
- 口 径 : 2.3mm ■ 耐 圧 : 最高7kg/cm² ■ 流量設定 : 400ml/分

AFR (オートフラッシング) 取付方法

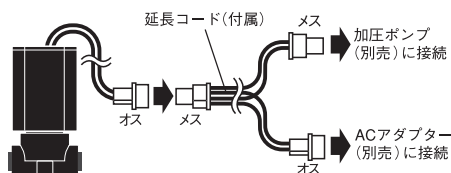
浄水器本体の排水バルブを全開にしてAFR (オートフラッシング) IN側のフィッティング (本体に“IN”の表記がありますのでよく確認して下さい) と排水バルブをハードチューブで接続します。次にAFR (オートフラッシング) のOUT側のフィッティングに今まで使用していたソフトチューブを差し込みます。この時、チューブは水直に切り、各フィッティングとチューブの接続は、しっかりと根元まで差し込みきつく閉めて下さい。緩いと水漏れの原因になります。

AFR (オートフラッシング) の電源ソケット (オス) にACアダプター (別売) の電源ソケット (メス) を差し込み取り付け完了です。

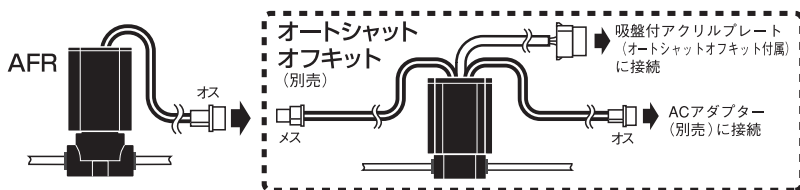


加圧ポンプを併用する場合

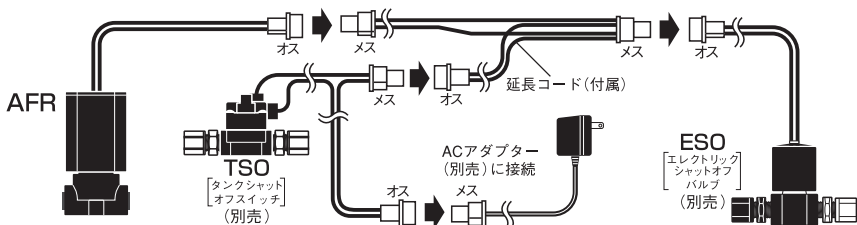
AFR (オートフラッシング) の電源ソケット (オス) を付属の延長コードのソケット (メス) に差し込みます。次に延長コードのソケット (メス) を加圧ポンプの電源コードのソケット (オス) に差し込み、片側のソケットをACアダプターのソケット (オス) に差し込み取り付け完了です。



オートシャットオフキットを併用する場合



ESO (エレクトリックシャットオフバルブ) を併用する場合



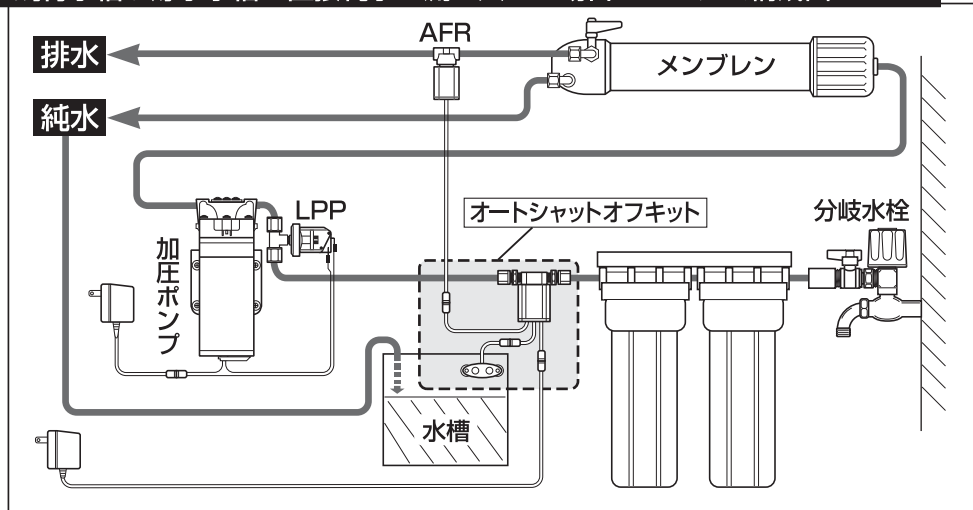
※オートシャットオフキット又はESOを併用し、さらに加圧ポンプを使用する場合は、必ず加圧ポンプの電源を別にして下さい。

使用上の注意

- 使用中は、水圧がかかりますのでホースの締付けを確実にしない、各コネクターは、根元までしっかり差し込んで下さい。
- 水漏れ等の損害による補償は、当社では一切致しません。予め御了承下さい。

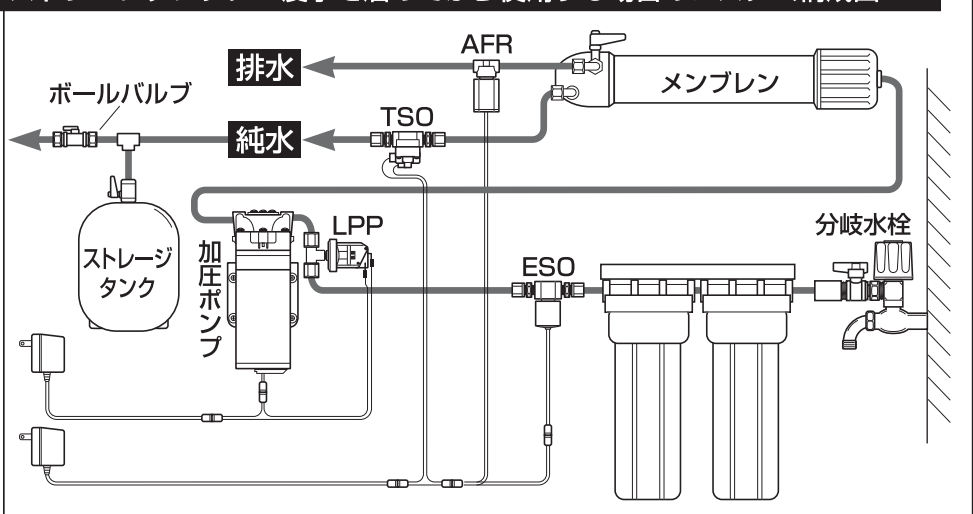
他のオプションパーツと組み合わせ、さらに便利なシステムを構成することができます。以下の接続例を御参考にして下さい。

飼育水槽や貯水水槽に直接純水を流し入れる場合のシステム構成図



飼育水槽と貯水水槽に直接純水を流し入れる場合のオプションパーツ接続例です。水槽への給水時、水槽の基準水位を超えるとオートシャットオフキットが給水とAFRの作動を止め、給水が遮断されたことで LPP がポンプを止めます。この場合ポンプとLPPの電源は必ず他の電源と別にして下さい。※必ず水質を確認後、生体に御使用下さい。

ストレージタンクに一度水を溜めてから使用する場合のシステム構成図



圧力タンクに一度純水を溜め、その後水槽に純水を流し入れる場合のオプションパーツ接続例です。ストレージタンク内にかかる水圧が 2.8kg/cm^2 以上まで上がるとTSOが感知し、ESO・AFRの電源をOFFにします。給水が遮断されたことでLPPがポンプを止めます。この場合ポンプとLPPの電源は必ず他の電源と別にして下さい。

エキスパート用 オプションパーツ・シリーズ

◆TSO(タンクシャットオフスイッチ)

タンク内の圧力が $2.8\text{kg}/\text{cm}^2$ 以上まで上がると、ESO・AFRの電源をOFFにし、 $2.1\text{kg}/\text{cm}^2$ 以下に下がるとONにします。

◆AFR(オートフラッシング)

排水量を $400\text{ml}/\text{分}$ に設定し、電源入力時(連続運転時は1時間毎)に18秒間バルブを全開にしフラッシングします。水圧 $4.2\text{kg}/\text{cm}^2$ 、水温 25°C の条件下では、純水との比率が3:1となります。

◆ESO(エレクトリックシャットオフバルブ)

TSOからのOFF信号により浄水器への給水を遮断します。

◆オートシャットオフキット

水槽の水位を監視し、基準水位を超えた場合に浄水器への供給水を遮断します。

◆LPP(ロープレッシャーポンプスイッチ)

ポンプの入り口水圧が $1.6\text{kg}/\text{cm}^2$ 以下になるとポンプの電源をOFFにし、空回りを防ぎます。(感知水圧は $0.7\sim 3.5\text{kg}/\text{cm}^2$ まで調整可能)

◆加圧ポンプ

水圧の少ない環境で使用し、メンブレンへの供給水を加圧します。最高 $9\text{kg}/\text{cm}^2$ までの加圧が可能です。但し、排水の設定量によって水圧は変化します。

◆ストレージタンク

タンク内には、ゴム製の真空貯水袋があり、その外側には、約 $0.7\sim 1.0\text{kg}/\text{cm}^2$ のエア어가注入してあります。1度入った純水はこのエア어의圧力で押し出されます。11L、20L、44L、87L、128L、180L用があります。

ウォーターユニットシステム用 オプションパーツ・シリーズ

◆フロート式シャットオフバルブ

水槽内のフロートが水位の上昇により押し上げられ純水を止めます。これによりTSO出力側の水圧が上がるとTSOは、ESO・AFRの電源をOFFにします。

◆分岐水栓

水道の蛇口を分岐させ、切り替え・取り付けが簡単です。

◆ボールバルブ

チューブを直接取り付けられ、切り替えがとても簡単です。

本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。